

○11月全校朝会から～目ざす子どもの姿の視点で感じたこと～

＜教務＞

- ・4年生の合唱を聴いて感想を発表した、 君、 君に感心しました。4年生の呼びかけに「応える」ことができた姿だと思います。
- ・「ひと・もの・ことに主体的にかかわる」子どもの姿の評価指標として、「頑張っている仲間からの呼びかけに対して、思いを汲んで応えることができる子ども」（具体的な姿として「感想が言える子」）が浮かび上がってきました。
- ・大切なのは、こうした子どもの姿を先生方がどのように価値づけ、子どもに伝えていくかだと思います。朝会の後で 君や 君を取り上げて話をした先生が多ければ多いほど、次に続く子どもたちが育ってくると思います。
- ・放送委員の子どもたちの発表する姿がよかったです。
- ・話をするときには恥ずかしがったり、ふらふら体を揺らす子どもがいませんでした。一人ひとりが全校の前で話をできたことは、貴重な経験になったと思います。
- ・途中でマイクのスイッチが切れました。舞台上に上がっていた放送委員は、誰もそのことを指摘しませんでした。臨機応変に動けるのは、自分がかかわっていることに主体的に参加しているかどうかの一つの目安だと思います。（今回は緊張が大きかったからだとは思いますが）
- ・はじめて司会をした計画委員の子どもたちが頑張っていました。
- ・前期の子どもたちの活躍する姿が、よい意味で受け継がれていると感じました。
- ・放送委員の発表の司会をしていた5年生の 君が、「発表が終わったら何か一言、言った方がいい？」と聞いてきました。その判断と何を言うのかも含めて彼に任せました。彼なりに考えて、一言話すことができました。
- ・後期の計画委員の子どもたちには、自主的、主体的な姿が見られることを目標に指導していきたいと考えています。 君の姿は、その第一歩です。

＜研究主任＞

- ・今日は後ろに保護者席があったので、多くの教師が児童の横に立っていた。何かいつもとちがうなと感じました。私は、教師の立ち位置について、もちろん時と場合によるが、児童の顔が見えるところがよいと教えていただいていたので、横から見ていることが多いです。
- ・4年生の1曲目が終わったら、1年の 君が一番に拍手をした。彼は、放送委員会の話の後も1番に拍手をしていた。 先生を見ると、リズムを取りながら、歌を聴いていらっしやいました。 君と先生はどっかにつながっているなと感じました。やっぱり、教師も体で感じたいと反省した。
- ・4年生の1曲目はクラスの曲になっていて、みんなが楽しく聴くことができた。横から児童の姿勢を見ていると、乗り出して聴く姿があった。低学年だけでなく、6年生も背筋を伸ばしていたので、聴きたいという思いが体に出ていることがわかった。
- ・2曲目になると、4年生の先生方の表情は感慨深げだった。1年の 君が手と足を使って拍手をしていた。いい曲ですね。
- ・2曲が終わり、感想を聞いたときに、2年生の女子が手を挙げていた。勇気がかなりいったらろうに、当たらなかったのが、残念だった。手を挙げていたよと教師が出てよかったですと反省。

- ・今日の入場は整列できても、座るタイミングが分からずにいた自分の学級。我慢して見ていると、「すわっていいんだよ。」という子が出てきた。さらに、校長先生の話をお聞かせせずにいた自分の学級の子。我慢して、教室で雷を落とした。5時間目は彼らなりに反省して聴いていたようだった。我慢して見ているといろいろ姿が見えてくる。もちろん、事前指導は大事です。
- ・全校朝会のレジメには児童の名前が載っている。頑張って司会した子の名前を確認して覚える。今度、校内で会ったら声をかけてみようかなと思っています。
- 余談・・・講演会前の児童会の「募金について」、募金をしたくなりました。なぜ活動するのかがよくわかったと思います。講演会後、「御礼をします。」で花束贈呈がありました。「歌わないの？」という子がいました。拍手でも十分だけど、何か自分もしたかったようです。

マイクの使い方について

せっかく大勢の前で話をする機会をもらって練習しても、マイクの使い方が上手くなくて聞こえないことがあります、残念です。

「マイクは、下くちびるの下にくっつけて話す」という指導をしてください。

ちなみに給食委員の子どもたちは、毎日職員室で練習してから昼の放送をしています。聞きやすくなったと思いませんか？

○学校評議員会、学校公開ありがとうございました

- ・スピーチや話し合い授業については、目的や意義についてご理解をいただけたと感じました。文字による説明でなく、実際に目にした子どもたちの姿から評価していただけたことをうれしく思います。
- ・「学習規律」が話題に挙がりました。音読の時の教科書の持ち方、姿勢などです。個人的な考えとして、「規律は必要だと思うが、学習に向かう子どもたちの意欲の方が大切であると思う」とお答えしました。
- ・指摘の背景には、目に余る子どもの言動や姿があったことも事実です。自分の学級を再点検してみてください。他学級、学年との情報交換も有効だと思います。

○第2回全体研究授業日に向けて

- ・11月11日に向けて先生が精力的に授業の準備を進めてくれています。
- ・教材、指導案を読み込んで、有意義な協議ができるよう準備をしておきましょう。

- ・当日は午前中から先生が来てくださいます。

先生に授業を見てほしい方は教務にお知らせください。

※指導案は必要ありません

※ご指導いただきたいことを決めてください

例) 話し合いの進め方について、板書について、机間指導について など

- ・またとない機会です。ぜひ活用してください。